

令和4(2022)年度

信州大学医療機器産業 人材育成プログラム

医療機器の研究開発人材に向けたリスキル教育プログラム



医療機器開発においてリーダーとなる人材の育成

長野県が制定した「長野県医療機器産業振興ビジョン」に基づき、医療機器産業分野への参入・事業展開において必要とされる医学的知識や法規制等の基本的知識を習得し、品質の良い医療機器の開発を推進する人材を育成することを目的とした「信州大学医療機器産業人材育成プログラム」を開設します。

対象 》 医療機器の研究、開発またはそれに関連した産業に従事している方
医療機器産業分野に関心をお持ちの方

申し込み 》 2022年3月1日(火) 随時募集、11月1日(火)

履修証明書 》 開講されるすべての科目を受講した受講生に対して「修了」を認定し、履修証明書を授与します。
(※2023年2月末までにすべての講義を受講してください)

履修証明プログラムとは

文部科学省の「履修証明制度」に伴い、信州大学が制定し、本学の学生以外の方を対象とした体系的な教育課程です。「信州大学医療機器産業人材育成プログラム」においては、学部卒程度の学力をもつ社会人等を対象とした60時間の体系的な学習プログラム（「特別の課程」）を編成しています。



プログラムの特長



医学的知識・法規制等の基本的知識が両方学べる

医学の基本的な概念、医療機器の開発・製造のプロセス、遵守すべき法規制など、製品化に必要な基礎知識を学ぶことができます



e-learningだからいつでもどこでも学習可能

時間や場所を問わず、受講者の都合の良いタイミングで学習に取り組むことができます



信州大学・他大学の教員による講義

信州大学医学部、他大学等、専門領域の第一線で活躍する講師陣による講義が受けられます



医療機器開発においてリーダーになりうる人材に

医療機器等の研究開発でイノベーション人材となるために必要な基礎的な知見・技術を学ぶことができます

Q1 どのように受講するのですか

インターネットに接続されたパソコンから、信州大学のe-learningシステムにログインし、受講してください。e-learningですので、インターネットに接続されたパソコンがあれば、自宅や職場等どこでも好きな場所で、24時間いつでも、受講することが可能です。

Q2 受講開始までのスケジュールを教えてください

出願書類提出後、受講資格審査を経て、結果を通知します。受講手続きの際、受講決定者には、受講開始日と、e-learningシステムにログインするためのID、ログイン先のURLを通知します。通知された受講開始日より、受講を開始することができます。

Q3 1日に視聴できる課目数や時間の制限はありますか

24時間いつでも受講可能で、上限はありません。1日1講義ずつ視聴してもよいですし、休日などにまとめて視聴することもできます。

Q4 e-learningを受けるには、何をを用意する必要がありますか

動画再生・音声出力ができるパソコン、インターネットの接続環境、メールアドレスが必要です。受講開始までに準備をお済ませください。

カリキュラム内容(一部抜粋) ※変更になる可能性があります

医学概論 (30時間)	Introduction to Medicine
整形外科学 「膝関節の構造と損傷, 変形性膝関節症の解説, 手術方法の紹介」 齋藤直人(信州大学医学部教授, 先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所所長)	
循環器内科学 「循環器疾患の基本的知識, 治療法の紹介」 柴祐司(信州大学医学部教授, 先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所教授)	
リハビリテーション医学 「リハビリテーション医学の概要」 堀内博志(信州大学医学部附属病院教授)	
産婦人科学 「産科婦人科学の基本的知識, 不妊治療の概要と課題」 金井誠(信州大学医学部教授)	
呼吸器内科学 「呼吸器病態を解明するための検査機器の開発」 藤本圭作(信州大学医学部特任教授)	
歯科口腔外科学 「歯科インプラント(人工歯根)治療, 歯科治療のデジタル化」 栗田浩(信州大学医学部教授)	
医薬品医療機器総合機構審査官から見た研究開発 「医療機器開発におけるレギュラトリーサイエンスの意義」 池田浩治(東北大学特任教授)	
イノベーション概論 「研究開発を市場での事業的な成功に結びつけるために必要な考え方を学ぶ」 金子浩明(グロービス経営大学院教授)	
イノベーション事例特論・事例1 「医療機器に特化したバイオデザインの発想の初歩を解説」 池野文昭(スタンフォード大学主任研究員)	

医療機器開発に関する法規制 (30時間)	Regulations in medical device development
医療機器の開発と法規制概要	
医療機器の定義と分類	
品質マネジメントシステム(QMS)の概要	
医工連携と知財戦略	
医療機器の設計・開発	
リスクマネジメント	
バリデーション	
医療機器の承認・認証・届出の概要	
CSV・電気安全	
滅菌関連法規制/滅菌バリデーション	

【プログラムの学習量】・総時間数60時間(各回60~120分)
・2023年2月末までにすべての講義を受講してください

【修了要件】・60時間の講義をすべて受講して認定を受けること
・認定は, 各科目受講後にそれぞれ提出するレポートを基に行います

受講申込要領

出願資格	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療機器の研究、開発またはそれに関連した産業に従事している方 ② 医療機器産業分野に関心をお持ちの方 ③ 企業にあつては、上司の承諾が得られること ④ 信州大学大学院学則第18条に揚げる方(詳細はWebサイトの募集要項参照)
募集定員	e-learningによる受講のため、特に設けません
出願手続き※1	募集要項・出願書類の様式は下記Webサイトよりダウンロードしてください。 https://idsc-gunma.jp/shinshu-u/smd_ikusei/
出願方法	<p>郵送の場合</p> <p>〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 信州大学学術研究・産学官連携推進機構に郵送(履歴の残る(追跡できる)「簡易書留」「レターパック」等で提出してください)</p> <p>e-mailの場合</p> <p>smd_ikusei@shinshu-u.ac.jpに送付</p>
出願期間	2022年3月1日(火)～11月1日(火) 期間内、随時募集しています
受講手続き	出願受付後、受講資格審査を経て、1ヶ月以内に結果を通知します。 結果通知の際に合格者には受講開始日を通知します。 履修許可の通知後、振込依頼書とIDを送付します。
受講料	60,000円※2 本学所定の方法でお支払いください

※1 信州大学では、個人情報保護法に基づき、個人情報の適正な取り扱いを確保しています。

※2 一度納入されました受講料の返金はいたしかねます。

申込フロー図



お問い合わせ先



SUIRLO

国立大学法人信州大学[サイロ]
学術研究・産学官連携推進機構

信州大学学術研究・産学官連携推進機構
(信州医療機器事業化開発センター信州大学オフィス)

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

☎ 0263-37-2071 ✉ smd_ikusei@shinshu-u.ac.jp

https://idsc-gunma.jp/shinshu-u/smd_ikusei/



詳細はこちら